

登録コード	E2411900	開講年度	2026				
授業科目	歌唱法演習 A				担当教員	田島 達也	
英文授業名	Vocal Music				副担当		
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	2年生
講義室	教育N 4 0 2		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				音楽家教員に求められる資質の1つである歌唱力に関して、正しい技能や豊かな感性の獲得によってより一層の向上を図ることの重要性が理解できるようになること。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				「歌唱法基礎」で身に付けた歌唱技能について、その方向性の正しさについて再確認するとともに、楽曲の構造や背景についても学びを深め、表現力がより一層身に付くようになること。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業前半は、声楽において、より良い演奏とするにはどのような技術的観点があるかを検討し、それらについて個別に抜き出して演習をする。授業後半は、それら声楽技術を実際の楽曲演奏の中でどのように活かすかについて、楽曲の構造や背景と絡めて個別に指導する。						
(5)授業計画	第 1 回：授業の説明 第 2 回：呼吸法と発声法の再確認 第 3 回：レガートな歌唱法の練習 第 4 回：アジリタ（細かい音の動き）の発声技法習得への挑戦 第 5 回：より良い声質について考える 第 6 回：共鳴について考える 第 7 回：声域を広げるために 第 8 回：歌唱における、歌唱技能とそれ以外の要素との関連を考える 第 9 回：コンコーネ50番練習曲集11～20番の歌唱法 第10回：Io son l'umile ancella の歌唱 第11回：かやの木山の の歌唱 第12回：Nebbieの歌唱 第13回：Allerseeelenの歌唱 第14回：Zueignungの歌唱、授業アンケート 定期試験 教育実習による授業欠席分は、別日で補講を行う						
(6)成績評価の方法	平常の取り組み(40%)、及び実技試験(60%)の合計で評価する。 平常的には、受講生自身の歌唱技能や音楽性の向上、またレパートリーの拡大に対してどのように取り組んでいるかを評価する。実技試験では、それらの勉強の成果として総合的な歌唱力を評価する ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	自らの歌唱力について課題を認識しつつ勉強しているが、楽曲の良さを表現する演奏まではいかない場合は「水準にある」、歌唱力における自らの課題等を克服しながら、楽曲の良さが概ね表現されていれば「やや上にある」、難易度の高い楽曲に積極的に取り組み、演奏技法上の困難さにも概ね対応できていれば「かなり上にある」、難易度の高い楽曲であっても楽曲の良さが十分表現され、豊かな声の演奏であれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	授業で取り上げる楽曲については事前に譜読み等を行い、伴奏者と合わせをしたうえで授業に臨むこと。 仕上がった楽曲についても、指摘を受けた内容について復習をすること。 また、発声練習は毎日行うこと。						
(9)履修上の注意	声のウォーミングアップを行ってから授業に臨むことが望ましい。 教育実習参加による授業欠席分は別日で補講を実施する。 のどや体調がすぐれない場合は、無理に出席する必要はありません。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問等は随時受け付けます。連絡はメールでお願いします。ttajima@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	声楽名曲選集 イタリア編 大阪音楽大学編 オペラ名アリア選集 音楽之友社編 日本歌曲集 全音楽譜出版社 他						
【参考文献】	なし						